

一般社団法人
北海道日中経済友好協会
令和元年度

友好 ヨーハオ

2019年5月10日発行

発行者

〒001-0032 札幌市北区北32条西10丁目1番13号

プリリア北32条 102号

一般社団法人 北海道日中経済友好協会

会長 中田 博幸

(TEL) 707-0030 (FAX) 707-0035

会長挨拶

—2019年度北海道日中経済友好協会の活動に向けて—

一般社団法人北海道日中経済友好協会 会長 中田 博幸

北海道日中経済友好協会会員の皆様には、日頃より当協会の活動にご理解・ご協力を頂き心より御礼申し上げます。

昨年は、日中平和友好条約締結40周年の年でありましたが、特に北海道へは李克強総理が来訪し、北海道の農産物・水産物や技術に対する大きな期待を述べられ、今後益々、北海道と中国との経済交流の発展を望まれておりました。

私共協会としても、2度にわたり中国への経済訪問団を派遣し、中国の経済人との交流を積極的に推進して参りました。中でも中国駐札幌総領事館のご招待による鄭州訪問では、訪問先の河南省商務局の計らいで多くの地元企業との情報交換を行う事が出来、今後、北京・上海等の大都市や沿海地方ばかりでなく、中国の歴史の中で中原と呼ばれる地域も、大きく飛躍しつつあると感じたところで有ります。

現在中国は、米中貿易摩擦の状況に有り、中国経済の行く末に不安を感じている方も多いと思います。しかし、中国は人口14億人の国で有り、日本と同じ人口を持った国が10か国以上も集まったような、活力に溢れたとてつもない国です。ですから、中国が貿易ばかりでなく、内需にスムーズにシフトしていければ、今後も大いに発展していくものと考えております。

豊かになった中国国民が、消費生活の中で、より高い品質の物を求めるのは当然で有り、私共北海道の中小企業がそこに目を向けていくことがより必要になるのではないかと思います。

北海道日中経済友好協会は、本年も、会員企業が、そのような中国の現状を知り、事業活動に生かしていくことが出来ますよう情報提供に努めて参りたいと考えております。

そして、会員企業の皆様と共に、当協会の事業に積極的に取り組んで参りますので宜しくお願い致します。



中国と北海道の歴史に思う

一般社団法人北海道日中経済友好協会

副会長 舟本 秀男

樺太の南北距離は北海道のそのの2倍もあります。1809年、間宮林蔵は厳寒の時期、3ヵ月と10日を要して樺太を縦断し、最北端のナニオーに至りました。ここから望む海は遥か遠くまで開けており、樺太が島であることを確認しました。のちに、大陸と樺太の間が間宮海峡と名付けられました。

探検家としての血が騒いだのでしょう、間宮は国禁を冒して対岸の大陸に渡ります。黒竜江を遡り、デレンという町に至りますが、なんとその場所では清国の役人が取り仕切って交易が行われていました。蝦夷地・樺太からもたらされた黒テンやクマなどの毛皮、そして清国からは絹織物の衣服が交易されていたのです。絹織物は三鞭人（さんたんじん）、樺太アイヌ、蝦夷地のアイヌを通して京都や江戸にもたらされ、「蝦夷錦」として珍重されたものです。200年以上も前、北海道と中国が「北のシルクロード」で繋がっていたと思いますと、ある種のロマンを感じさせられます。

一方、哀しい歴史も思い出されます。第二次世界大戦では1万数千人の中国の方が、北海道の炭坑や製鉄所、発電所で働かせられ、多くの犠牲者を出すという悲惨な歴史がありました。この方々の尊い命で、今の北海道の交通やエネルギーの礎が築かれたことを忘れることはできません。

戦後、20年にわたり中国で稲作指導を行い、中国の方々から「洋財神」（ヤンザイシェン：外国からきて富をもたらしてくれた神様のような人）と称えられているのが、岩見沢市出身の原正一氏です。原氏は、64歳で黒竜江省で寒冷地向け稲作を指導し、85歳で亡くなる直前まで63回も訪中し、各地でボランティアとして活動しました。黒竜江省では、従来に比べ14倍の収量を挙げるまでになったそうです。中国全土の50%以上で原方式が実践され、1300万トン以上が増産されています。1998年に訪日された江沢民主席は、わざわざ北海道を訪れ、原さんとお会いし、中国の方々の原さんに対する心からの感謝の気持ちを伝えたとのこと。原氏は日中交流に多大な貢献を果たされました。

昨年9月6日に北海道胆振東部地震、及びそれに続くブラックアウトが発生しました。私も早朝、徒歩で会社に参りましたが、途中、大通公園で多くの中国からの訪日客を含むアジアの方々がベンチや芝生に腰を掛け、不安そうにしている光景に出会いました。お聞きしますと、5千人といわれる訪日中国人の方々は在札幌中国総領事館のお手配で全員無事帰国されたとのこと。安心致しましたと共に、この様な事態に何らご支援できなかった自分の不甲斐なさに恥じ入ると共に、今後は日中経済友好協会としても組織的支援活動ができるような仕組みを創り上げなければならないと思いました。



2018-19年度 協会の歩み

■2018年5月21日 定例総会と会員交流会を開催

札幌市中央区のキャリアバンク株式会社セミナールームにおいて平成30年度の一般社団法人北海道日中経済友好協会定例総会を開催しました（本年度の法人会員数40社、個人会員数41）。本年度は特に会員の大幅増強を目指して活動していくこと出席者の総意で了承しました。

総会終了後は、隣接のホテルセンチュリーロイヤルに会場を移し、会員交流会を開催しました。中田会長はじめ28名の参加があり、終始和やかな雰囲気の中、会員相互の情報交換と懇親を深めました。



■2018年7月29日 チャリティーゴルフコンペを開催

第18回中国総領事杯チャリティーコンペを開催しました。ダイナスティ北広島ゴルフ倶楽部を会場に、中田会長をはじめとして15名の参加者により繰り広げられました。

当日のコンペではペナルティーを募金として徴収することになり、頂いた浄財金11,513円は当協会の留学生資金として協会寄付金とさせて頂きました。

チャリティーゴルフコンペに際して協賛頂い



た会員企業より、商品券、ファイターズの観戦チケット、海産物セット、ペアホテル食事券など、多数の協賛賞品の提供があり、参加者全員により賞品を競いあうという楽しいゴルフコンペとなりました。優勝は協会の村松弘康副会長で中国総領事杯を手に入れました。

■2018年8月1日 中国総領事館との交流の夕べを開催

中華人民共和国駐札幌総領事館（札幌市中央区）において。日中友好と経済交流の促進をはかるため日中交流の夕べを催しました。来賓をはじめとして協会会員、留学生など62名の参加がありました。催しは終始和やかな雰囲気の中、総領事館との交流が行われ、併せて中国私費留学生5名に対する前期奨学金（1人30万円）の贈呈式も取り行いました。当日は総領事の孫振勇氏の出席を賜りご挨拶をいただきました。ス





ピーチの中で総領事は、当協会が毎年実施する中国留学生へ奨学金授与者が総計で97名となったことに触れ、感謝のお言葉を述べるとともに、留学生に対しては、奨学金を活かして勉学に励み、将来に渡って中日友好の柱となって頂きたいとの祝辞がありました。

■2018年8月23日
中国経済・観光セミナー開催

駐札幌中国総領事孫振勇様を講師としてお招きし、「中国と北海道との経済・観光交流の現状と展望について」と題してご講演を賜りました。会員参加者は41名。会場はキャリアバンク株式会社セミナールーム（札幌市中央区）でした。



■2018年9月10日～9月16日
第17回中国経済視察旅行を実施

村松協会副会長を団長とし16名の参加者により、第17回中国経済視察旅行を実施しました。上海、張家界、鳳凰古城、江南六代水郷をめぐる6泊7日間の日程でした。

視察団一行は9月14日午前、上海市人民政府対外友好辦公室を公式訪問し、同辦公室幹部の景瑩氏、郭盛麟氏、曹海炯氏らと約一時間にわたり会談しました。中国側の友好的な対応により、終始なごやいだ雰囲気の中、北海道と中国との経済・観光交流の更なる活性化を中心に意見交換を行いました。今回の中日友好協会訪問





を記念して、村松副会長から景瑩氏への絵画を贈呈しました。

表敬訪問後は、上海から南西140kmに位置する河南六代水郷の一つの烏鎮を観光しました。烏鎮は古くから交通の要所として、古の雰囲気を復元することを目的にして観光地として開発されました。広い風景区内に佇むと数百年前にタイムスリップしたような感じを受けました。旅程と参加者は別掲に記載しています。

■2018年11月4日～11月9日 第18回中国経済視察旅行を実施

当協会は在札幌中国総領事館の招請による中国経済視察を実施するため経済視察団を結団し(団長中田博幸会長、団員11名)、第18回中国経済視察旅行を実施しました。

視察団一行は11月5日午前、河南省政府主催の経済ビジネス交流会議(河南省鄭州市で開催)に参加しました。主催者側からは何松浩商務庁副庁長をはじめとする省政府関係部門の各代表



者と、貿易、保険、人材派遣、観光、食品、車両、建築、森林河川、新素材などの多岐の業種にわたる企業から約50人が参加。主催者側が日本からの訪問を熱望していたこともあり、3時間を超える活発な意見交換となりました。今後の経済・人材交流への期待が大きく膨らむ、熱いビジネスミーティングの後は、両国参加者による昼食交流会を開催しました。視察団団員として参加した武井文夫理事の視察記も掲載していますので合わせてお読みください。旅程と参加者は別掲に記載しています。

■2018年11月28日 留学生セミナーと交流会を開催

同日夕刻、キャリアバンク株式会社セミナールーム(札幌市中央区)を会場において、就職を前にしての中国留学生(16名の留学生が参加)を対象にセミナーを開催しました。講師の佐藤協会専務理事からは日本で就職活動に際し



での具体的・実地的な説明があり、参加した留学生からは非常に解りやすく、役に立ちましたとの感想が寄せられました。セミナー終了後は留学生に加えて協会会員13名が加わり、お弁当を広げての交流会を開催しました。会席では留学生の自己紹介のあと留学経験のある田理事から約25年前国費留学生として来日した当時ことや、その後日本で起業した話に、留学生は興味をもって聞き入っていました。会員企業との就職の相談や今後の日本での生活相談等もあり、楽しい交流会となりました。

2019年1月29日 新年恒例会を開催

札幌市中央区のプレミアムホテル中島公園札幌において毎年恒例の新年交礼会を開催しました。当日は中華人民共和国駐札幌総領事館からは、公務で出席が適わなかった孫総領事に代わって経済担当王玉英領事の出席を賜りました。

今年の恒例会には来賓、留学生をはじめとして43名の参加があり、終始和やかな雰囲気の中

新年の交流の催しが行われました。この中で中国私費留学生5名に対する奨学金の後期贈呈式も行い、留学生からは奨学金取得後の研究活動や生活の状況など思いをスピーチしてもらいました。「アルバイトの時間を減らせた分、勉強や研究に当てる時間が増えたためより深く学べるように為りました」、「日中友好のボランティアに参加しました」などの感想が寄せられました。中田会長からは、奨学金が似鳥国際奨学財団からの助成をもとに行われている事に対する謝意があり、留学生に対して奨学金を活かして更に勉学と、日中友好に励んで頂きたいとの言葉がありました。

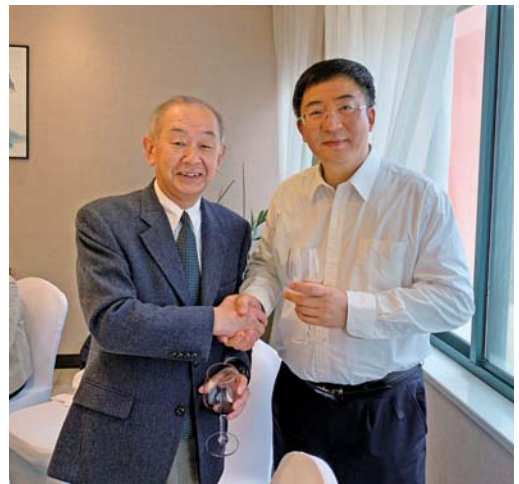


第18回中国経済視察報告/2018.11.4～6 河南省（鄭州市／洛陽市）

一般社団法人北海道日中経済友好協会 理事 武井文夫

経済活動で“中原に鹿を逐う”熱気あふれる河南省

夏から金の時代に王朝が置かれ、中華民族発祥の地と言われる河南省へは、初の経済視察団の派遣となりました。省都・鄭州市で開催された河南省政府主催の経済ビジネス交流会議では、河南省側は何松浩・商務庁副庁長をはじめとする省政府関係部門の代表者に加え、貿易、保険、人材派遣、観光、食品、車両、建築、森林河川、新素材などの企業から約50人が参加。当協会の訪問を待ちわびていたかと思われるように、活発な意見交換は3時間に及び、今後の経済・人材交流への期待が大きく膨らむ、熱いビジネスミーティングが展開されました。



中国ではこれまで、いわゆる沿海都市が牽引する形で経済発展を遂げてきましたが、内陸地の河南省が中国経済を支える“真打ち”を目指す胎動を、今回の視察を通じて肌で感じることができました。人口では約1億人と国内3位の河南省は、李克強首相が6年間にわたって省長や党書記などを務めたところであり、古代より「中原（河南一帯）を制する者は天下を治める」と自認する河南人のDNAは、お会いした一人ひとりにしっかりと受け継がれていました。

河南という地名にピンとこなくても、世界遺産の「龍門石窟」「殷墟」「登封の史跡群」を知る日本人は多いはず。中心都市の鄭州市は、殷の時代から3500年の歴史を持つ文化名城です。中国五岳の一つに数えられ、世界遺産に含まれる嵩山の少林寺にも近く、歴史好きの人にはたまらない観光エリアであることを、改めて認識できました。

中国訪問の大きな魅力の一つはもちろん食事です。今回は河南省の古都洛陽の名物「水席料理」を、老舗「真不同」で堪能しました。水席とはコース料理のほとんどが、具たくさんスープで構成されている宮廷料理。唯一の女性皇帝となった則天武后が帝位に就いたときの宴会料理とされています。このあたりは山に囲まれ、寒く乾燥した気候のため、水分補給と体を温めるために庶民にも広がり、今日に至っているとのこと。河南省を理解する一助になったことは言うまでもありません。

今後の発展に大きな可能性を秘めた河南省の訪問で、新たな経済交流の創出に確かな手応えを感じることができました。加えて、実際に現地の社会、文化等を体感することで、より一層理解を深めることができ、有意義な視察となりました。今回の視察の成果を、当協会のネットワークを活かしながら、今後の交流事業の展開に結び付けていきたいと考えております。

今回の訪中が、中華人民共和国駐札幌総領事館の全面的なご支援のもと、孫振勇総領事、王玉英領事の積極的なご支持によって実現したことに対し、重ねて感謝申し上げ、ご報告といたします。

第17回中国経済視察旅程（2018.9.10～9.16）

日次	日 月	都 市 名	スケジュール
1	9月10日月曜日	新千歳空港→上海→張	新千歳空港より中国東方航空・直行便にて上海經由張家界
2	9月11日火曜日	張家界→天子山→武陵源→張家界	天子山自然保護区／袁家界風景区
3	9月12日水曜日	張家界→鳳凰	張家界観光／天門山森林公園（ロープウェイ・ガラス栈道・天門洞）／鳳凰古城へ
4	9月13日木曜日	鳳凰→張家界→上海	鳳凰古城小舟遊覧（万名塔・虹橋・沈從文故居・跳石 古町散策）
5	9月14日金曜日	上海→烏鎮	午前、中日経済友好協会上海事務所公式訪問。午後、烏鎮。
6	9月15日土曜日	烏鎮→上海	烏鎮観光（運河遊覧・江南百床館・公生糟坊）
7	9月16日月曜日	上海→新千歳空港	帰途

第17回中国経済視察団参加者名簿

No		参加者氏名	会 社 名	役 職
1	団長	村松 弘康	村松法律事務所	所長
2	副団長	佐藤 良雄	キャリアバンク（株）	代表取締役
3		佐藤佳寿子	颯拓商務諮詢（上海）有限公司	董事／総経理
4	秘書長	吉田 正博	パワーリンク（株）札幌支社	支社長
5		里見 英樹	（株）メディア・マジック	代表取締役
6		里見 翼	現地集合	
7		大口 敦実	札幌通運（株）事業改善推進部	課長
8		堀江 良子	札幌通運（株）さくらスマイル引越センター	係長
9		山田 美咲	（株）ロジネットジャパン営業開発部	係長
10		志水 美穂	（株）ロジネットジャパン西日本事業改善推進部	係長
11	秘書	加藤 淑子	北海道日中経済友好協会	職員

第18回中国経済視察旅程（2018.11.4～11.9）

日次	日 月	都 市 名	スケジュール
1	11月4日日曜日	新千歳空港→鄭州	新千歳空港より中国航空航空・北京經由便にて鄭州へ。
2	11月5日月曜日	鄭州→洛陽	現地企業見学と交流会開催。洛陽へ移動。
3	11月6日火曜日	洛陽→太源	龍門石窟、少林寺など見学。太源へ移動。
4	11月7日水曜日	太源→北京	雲崗石窟、平遥古代都市など見学。北京へ移動。
5	11月8日木曜日	北京	午前、中日友好協会公式訪問。午後、現地企業との経済交流会開催。
6	11月9日金曜日	北京→新千歳空港	帰途

第18回中国経済視察団参加者名簿

No		参加者氏名	会 社 名	役 職
1	団長	中田 博幸	札幌市役所	元副市長
2	副団長	武井 文夫	NPO法人カルチャーナイト北海道	監事
3	秘書長	吉田 正博	パワーリンク（株）札幌支社	支社長
4		吉田祐三子	パワーリンク（株）札幌支社	夫人
5		河本 文治	一達国際（株）	代表取締役
6		中田 繁一	ニード設計室	代表取締役
7		長瀬恵里子	（株）メディア・マジック	取締役
8		濱田 雅英	地崎商事（株）	取締役会長
9		政田 治彦	シティ環境（株）	代表取締役
10		脇 千春	苫東コールセンター（株）	代表取締役
11	秘書	加藤 淑子	北海道日中経済友好協会	職員

平成30年度 中国私費留学生支援奨学金授与事業の報告

一般社団法人北海道日中経済友好協会事務局

① 公益財団法人似鳥国際奨学財団からの助成

「公益財団法人似鳥国際奨学財団」からの助成金を受けるため、平成29年12月に同財団に対してへの助成申請を行い、平成30年4月に「公益財団法人似鳥国際奨学財団」選定委員会より助成金300万円を受けました。

② 助成金の使途

同財団からの助成金300万円の全額については、当協会が平成30年度の事業として実施する給付型奨学金支給事業の資源として活用することとしました。支給の対象は、私費で来日し他道内で学ぶ中国留学生を公募、選考した5名の留学生に対して、一人につき60万円（前期30万円、後期30万円）を給付します。

③ 平成30年度中国私費留学奨学生募集と選考

5月25日、平成30年度中国私費留学奨学生募集のため道内10の大学（北海道大学、北海道教育大学、札幌国際大学、小樽商科大学、札幌学院大学、北海学園大学、北海道科学大学、酪農学園大学、苫小牧駒澤大学、北海道文教大学）へ募集案内を送付しました。

募集活動の結果、62名の中国私費留学生からの応募があり、7月8日に選考委員である協会会員3名によって書類審査と7月21日に面接による選考を実施し、厳正な選考審査の結果、下記の5名に返済義務のない給付型奨学金（1名につき60万円）の支給を決定いたしました。

記

肖 宛路	女	四川省出身	北海道大学総合化学院
劉 瑩	女	哈爾濱市出身	北海道教育大学大学院
唐 亮	男	西安市出身	北海道科学大学工学部
呉 憂	女	浙江省出身	北海道大学文学研究科
程 子昕	女	湖北省出身	北海道大学農学研究院

留 学 生 の 主 張



肖 宛 路

四川省出身

北海道大学総合科学院

近年、中国は世界第二の経済大国となり、世界最大の「留学生資源国」となっています。学生たちは自由に好きな国の教育システムを選ぶことができますが、留学目的はそれぞれ違うと思います。私にとって日本留学の目的は「知行合一」を実現することです。「知行合一」は中国の明の時代に王陽明が唱えた学説ですが、知っている以上は必ず行いにあらわれるという意味です。私も自分の志を実践したいと思いました。

日本に留学すれば、優れた研究者と組織の中に入って、先端的な研究に触れることができます。瀋陽の大学で二年生の時、初めて薬剤学の研究室を見学しました。研究室のある先輩と交流して、研究生活を楽しみにしましたが、驚いたことに、修士一年の先輩は自分の研究の内容について正確に説明できなかったのです。その時中国の修士課程のシステムは私の理想と合わないと思い、留学することを考え始めました。そして、四年生の時、日本の富山大学の分子合成化学の研究室と一週間交流しましたが、日本に留学することを決めました。日本の大学院の学生たちは一つのテーマを一人で研究するので、自分の能力を発揮することができるし思考力もだんだん深まるはずで、それは今の私がしていることで、日々成長を実感しています。日本に留学することは私に大きな影響を与え、貴重な経験になると思います。将来、研究者として世界で活躍し社会に貢献したいです。

また留学することによって、広い視野と複眼的

な価値観を持つことは、人生の選択肢を増やしてくれます。前世紀の歴史から、中国人は日本に多少敵対心を感じており、日本人も中国について少し誤解を持っています。しかし、瀋陽の大学で、日本文化祭に参加したり、日本語の弁論大会や作文コンクールに参加したりして、日本の文化を理解しました。「一期一会」ということわざを習いましたが、とても印象に残っています。初めて北大に留学し、一人で札幌駅に行って迷子になってしまいましたが、親切な通行人が助けてくれて、目的地へ連れていってくれました。驚くとともに感動しました。それは茶道の「一期一会」だったと思います。

瀋陽の大学では、日本人の先生や日本に留学した先輩から様々な知識を学び、視野を広げました。以前の私はそのような恩恵を受けていましたが、今の私も周りの日本人に中国固有の精神や文化、技術などを伝えて、異なる価値観を交流できるはずだと思います。偏見を持たず、お互いの価値観を認め合うほうがよいと思います。思考の幅を広げることが留学の意義深い目標だと思います。

「万卷の書を読み万里の道を行く」ということわざがありますが、日本に留学することは「知」っている上に、「行」って実現するということです。互いに助け合い、多様な価値観を持ち、社会に貢献したいと思います。



劉 莹

哈爾濱市出身

北海道教育大学大学院

去年の十月に日本に来てから、大学院生としての生活はもう半年ぐらい経った。この二回目の来

日は私にとっては、場所が新潟から北海道に変わっただけでなく、自分なりの留学目的に対する認識も変わった。

学部時代からずっと専攻として日本語を勉強してきた。そして、できるだけ速く日本語を身につけるため、日本からの留学生と交流したり、単語や文法などを暗記したり、日中交流活動に参加したりして一生懸命頑張ってきた。その結果、日本語能力試験に合格した嬉しさの他、上越教育大学へ一年間交換留学生の資格を取得した。一回も外国に行ったことのない私にとって、留学ということは非常に勇気を出す必要があるが、日本文化についての知識の渇きや、日中交流活動における先輩たちに対する憧れ、付き合ってきた日本人の友達の親切さなどの思いが非常にあり、最後に交換留学ということに決意した。

かつてテキストの中だけ出現した完備の公共施設や先進の教育制度、伝統的な日本文化などの物事が実際に目の前に出て体験できるようになり、充実な一年間交換留学生生活を過ごしたと考えている。印象深かったことは、上越では、興味として中国語を勉強している日本人が多く、定期的には公民館や市民プラザなどの場所で中国語の授業を受けており、学校でも日本で生まれてきた子どもたちに無料の中国語教室を提供している。中国語教師として働いていた私にとっては、みんなの中国語に対する熱意に感心しながら、これからもこのような事業に貢献したいと考え始めた。そして、日本人と付き合えば付き合うほど時に揉め事が起こったことがある。原因はいったい何かと考えたら、やはりお互いに対する歴史的または文化的な認識はまだ不十分だと自分なりに概話した。

そのため、学部を卒業したら院生として引き続き日本で勉強することに決意した。そして、自分の専攻（学部）を活かしたい気持ちだけでなく、日本人と中国人のお互いに対する認識の改善した

い発想と日中交流活動に参加する意欲も含め、社会科教育を選択した。今までの半年間に、私は研究が順調に進んでおり、日中交流活動も楽しんでいる。留学の初心を忘れずに、これから一年間も頑張っていきたい私は、もし貴協会の援助が得られるのであれば、さらに勉強に専念し、よりよい活動成果をあげられると思うので、是非とも、よろしく願いいたします。



唐 亮

西安市出身

北海道科学大学工学部

日本は中国と友好関係にある身近な隣国ですので、子供のころから日本のアニメやマンガに接することによって、日本に対する興味を持ちました。大きくなってからは、日本の文化や経済、工業に関するニュースや書物に接触する機会が多く、戦後の高度経済成長、高度に発達した科学技術に対して尊敬の念を感じるようになりました。

ニュースだけではなく、もっと日本のことを知りたいのですが、そのために、言語の問題が最大の障害となっています。日本語が分からなければ、日本の文化を理解するなど到底無理です。私はネットで独学し、日本語の魅力を感じながら、この言語も少し理解できるようになりました。

日本はアジアの強国で、経済や教育など各方面で中国より進んでいます。幼少のときからの興味に加え、日本人の礼儀作法も身につけたいと考え、日本に留学して見識を広げようと決心しました。そして、日本に留学し、現在北海道科学大学の情報工学科に在籍しております。

ここ数年、スマホが急速に発達しており、人々がスマホを所持することが多くなっています。様々なアプリはとても魅力的で、人を惹きつけます。私は日本に留学し、コンピュータのプログラ

ミングを学び、スマホアプリ開発に関連する仕事に就き、今までにない、人の生活を根幹から変えるアプリを開発して提供したいと考えています。また、グローバルゼーションはこれからの趨勢であるため、この分野もグローバルゼーションに歩調を合わせています。したがって、将来性があり、社会への貢献にも繋がると考えています。

このようなアプリを開発できる優秀なアプリ開発者になるために、自身が持っている「発見力」と「想像力」とプログラミング知識は、一つでも欠けていてはならない条件だと思います。私は日本留學生活の日常で、「発見力」と「想像力」を鍛え、大学でプログラミング知識を身につけたいと考えています。

今、私は夢だった日本の大学でプログラミング知識と技術を磨いており、豊富な知識を身につけています。大学卒業後、私はさらなる研究を続けるために、大学院に進む予定です。そして、授業で習得したプログラミング専門知識を活かして、日本でアプリ開発に関連する仕事に就き、大学で勉強するだけでなく日本社会の経験もしたいと考えています。磨いたプログラミングの能力で中国と日本に貢献する人材になりたいです。



呉 憂

浙江省出身

北海道大学文学研究科

私は現在、北海道大学文学研究科の博士後期課程の一年生で、英米文学を専攻しています。将来は英米文学及び比較文学に関係する研究機関や大学等で研究を行いたいと考えています。そのため、日本に留學に来ています。また、自分の留學経験を活かし、多文化間の架け橋になりたいと思っています。

子供の頃から、母のすすめにより、中国や外国

のストーリーを多読し、特に『レ・ミゼラブル』『高慢と偏見』などの本の影響を受けまして、文学に強い関心を持ってきました。大学時代、中国文学及び英語を専修しました。英語で書かれた文学の世界をより一層理解するため、英米文学を専攻にして大学院に進学しました。

日本の大学院に進学したのは「偶然の中の必然」だと言えます。2010年、私は中国高校生訪日団の一員として東アジア青少年大交流に参加した頃、日本人の親切さと真面目さに非常に感服しました。それをきっかけに、日本語と日本文化を勉強し始めました。また、大学時代、インドでボランティア活動していた頃、ルームメートの一人であった北海道大学の学生との交流によって、北海道と北海道大学に良い印象を持ち、この土地で勉強することに憧れました。

北海道大学の文学研究科への進学は、英米文学に関する理論的な知識と実践的な活用能力を身につけるきっかけになると考えました。日本で英米文学を勉強することで、日本特有の文化や考え方を通して、国際的な視点を持ちながら、より横断的な発想で、英米文学を研究できると考えています。

そのほか、勉強と研究のみならず、多文化交流の機会に恵まれた私は、多文化交流への関心を常に持ち、架橋になれるように努力したいと思っています。北海道大学に入ったから、私は留学生ナビゲーターとして「Catch Your Dream!—Study in JAPAN—北海道大学編」に出演し、北海道大学を紹介しました。また、北海道大学の留学生サポートデスクの相談員もラーニングサポートのチューターも担当し、日本人学生と留学生の学習や生活の支援をしています。主な担当者として、ランゲージコーナーをはじめ、茶話会など、高校生や一般市民にも参加できるイベントを行いました。

卒業後、私は専門分野に限らず、幅広い分野に

関する見識を持つ物になり、中国または日本の大学で教員として教育研究活動に従事することを希望しています。これまで様々な経験から得てきた教養に、新たな知見を加え、次世代の学生と社会に還元したいです。



程 子 昕

湖北省出身

北海道大学農学研究院

私はいま北海道大学の昆虫体系研究室に2年間勉強している。昆虫の研究が好きなので、日本に留学することにした。

私は子供のころから昆虫が非常に好きであり、これらの精巧な生き物に魅了されている。学部生の時、私は順調に中国で最も良い昆虫研究室に入った。その時の私は、データのみならず分子実験より、昆虫の多様な美しい姿を見ることが好きなので、分類のような伝統的な研究を選んだ。学部生時代の指導先生はチャタテムシという身の形が小さい昆虫を私の人生に持ち込んでいた。チャタテムシは蝶やカブトムシのように、見た目には強いインパクトがあるとは思えないが、独特な魅力がある。日本に留学に来たきっかけは、学部三年の時、卒業後の進路を悩んでいる私は、今の指導先生の吉澤先生が新しく発表した取り換えチャタテについての文章を見た。私もチャタテムシ分類学の研究をしていたので、この雌雄性転換のチャタテムシ種に興味があり、その進化過程を研究することは必ず面白いと考えた。そして、雌雄の交尾器との相互作用で進化することに関する文献を探して、関連する研究を行う人があまりいないことを発見した。環境変化に敏感な種として、交尾器形態の多様性が特に顕著なチャタテムシは系統分類と進化に関する研究材料として非常に適していると考えた。突然私は今後どのような研究をした

いのか分かりチャタテムシを研究材料として雌雄交尾器の共進化を研究することと決めた。しかし、このような研究によって標本の品質要求が比較的に高く、国内でチャタテムシの研究者がいないが、吉澤先生が日本で唯一のチャタテムシの研究者であることを発見したので、彼のいる研究室に行くことにした。すると、自分の考えを研究計画書に書いて吉澤先生に連絡した。相手はこの研究計画がとても面白いと思い、彼の研究室に行ってこの研究を完成させることに同意した。日本に来てから、私の研究は本格的に行われたが、ここでは本当にこの研究を支える標本データがあり、そしてその年に深い印象を残してくれる取り換えチャタテムシも今の研究に加えた。だからチャタテムシが私を日本に持ってきたと思う。

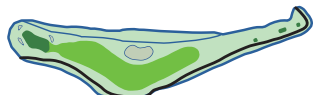
たまに日本に来る留学生はまるで運命のようだ。多くの人のように、子供のころから日本の少年漫画を見て育ち、ずっと日本の文化に興味を持っている。学部生の時代は東野圭吾の推理小説に夢中になり、日本語を勉強し始めたが、日本語が好きになった。自分で言葉の中で表現される感情を理解し、それは他人が翻訳した文字より面白い。だからずっとチャンスがあれば日本に行って日本の文化を感じるようになる。すると、日本で好きな研究室を見つけた時、私は迷わずに日本に留学することにした。

今の私は日本で博士課程を進学し、自分の研究を完成するつもりだ。他の国に勉強し、生活し、異なる文化を体験するのは珍しい人生経験であると思う。最も重要なのは、自分の好きな研究を見つけた。日本に留学に来て本当に良かった。

OUTコース



No. 1 PAR 4
 Back Tee 376Y
 Regular Tee 351Y
 Front Tee 305Y



No. 2 PAR 4
 Back Tee 413Y
 Regular Tee 390Y
 Front Tee 350Y



No. 3 PAR 3
 Back Tee 132Y
 Regular Tee 116Y
 Front Tee 104Y



No. 4 PAR 5
 Back Tee 514Y
 Regular Tee 494Y
 Front Tee 449Y

一達国際 株式会社

一達国際 Private golf 倶楽部



北海道の大地、日本の山100選にも選ばれる秀峰羊蹄山(1898m)の大自然に包まれた喜茂別町の高台標高540メートルの地に18ホール par72・total yard 6,504yのプライベートゴルフコース「一達国際 private golf 倶楽部」がございます。

Front 9は、見え隠れする双子羊蹄を眺めながらのプレーを楽しむことができます。

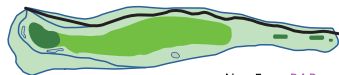
Back 9コースは、自然の造形を活かしたコースで、たまに見える羊蹄が緊張を癒します。

いずれも、林間の特徴を活かしたコース設計で、難易度と戦略性を兼ね備えています。



〒044-0222 北海道虻田郡喜茂別町字栄166-1
 電話番号:080-3234-3198
 FAX:011-351-5258

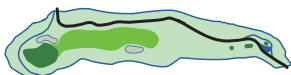
INコース



No. 5 PAR 4
 Back Tee 413Y
 Regular Tee 400Y
 Front Tee 354Y



No. 6 PAR 3
 Back Tee 161Y
 Regular Tee 143Y
 Front Tee 125Y



No. 7 PAR 4
 Back Tee 350Y
 Regular Tee 331Y
 Front Tee 305Y



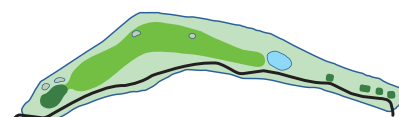
No. 8 PAR 5
 Back Tee 474Y
 Regular Tee 458Y
 Front Tee 416Y



No. 9 PAR 4
 Back Tee 350Y
 Regular Tee 340Y
 Front Tee 255Y



No. 10 PAR 4
 Back Tee 384Y
 Regular Tee 362Y
 Front Tee 312Y



No. 11 PAR 5
 Back Tee 506Y
 Regular Tee 485Y
 Front Tee 465Y



No. 12 PAR 4
 Back Tee 440Y
 Regular Tee 411Y
 Front Tee 370Y



No. 13 PAR 3
 Back Tee 131Y
 Regular Tee 115Y
 Front Tee 108Y



No. 14 PAR 5
 Back Tee 488Y
 Regular Tee 465Y
 Front Tee 425Y



No. 15 PAR 4
 Back Tee 417Y
 Regular Tee 399Y
 Front Tee 352Y



No. 16 PAR 4
 Back Tee 388Y
 Regular Tee 360Y
 Front Tee 297Y



No. 17 PAR 3
 Back Tee 157Y
 Regular Tee 126Y
 Front Tee 116Y

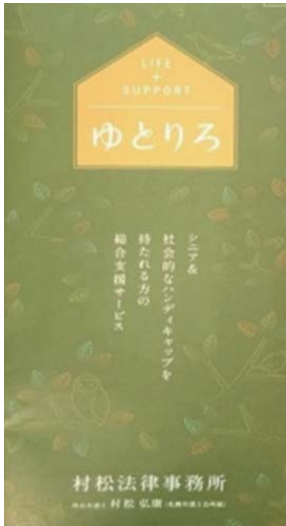


No. 18 PAR 4
 Back Tee 410Y
 Regular Tee 381Y
 Front Tee 345Y

— カート Fairway 池
 — OB Green — バンカー

Total Yard 6,504Y PAR 72

シニアや社会的なハンディキャップを持たれる方の生きいきとした毎日のために。



北海道の高齢者率は全国平均を上回り、単独高齢世帯および夫婦双方の高齢者世帯も急激に増えつつあります。また機能障害 (impairment) や能力障害 (disability)、その他の社会的不利益 (handicap) を受けている方々の問題も見逃すことはできません。さらに認定を受けていない方の中にも、社会生活上の困難を感じている人も少なくはありません。当事務所では早くから、交通事故等による高次脳機能障害など、従来では取り上げられなかった事例に取り組み司法による救済に努めてきました。今日、法律、福祉、医療等それぞれの専門体制はありますが、高齢者やハンディキャップを持つ方が、より前向きに生きいきと日々を過ごしたいと望むとき、総合的に相談できる体制は十分とはいえません。司法の立場からではなく総合的な体制で支援したい。それに応える支援の仕組みづくりの必要性を痛感し、シニア・社会的なハンディキャップを持たれる方の総合支援サービス「ゆとりろ」を開始し、4年が経過致しました。皆様のご理解とご利用をお願い申し上げます。



村松法律事務所

〒060-0002 札幌市中央区北2条西9丁目インファス5階
TEL 011-281-0757 FAX 011-281-0886
www.muramatsu-law-office.com

所長弁護士	村松 弘康	パートナー弁護士	佐々木貴教	弁護士	吉田 克己 (北海道大学名誉教授)
医療顧問 (北海道大学名誉教授)	吉木 敬	弁護士	畔木 康裕	弁護士	田島麻紀子
弁護士	脇山 正幹	弁護士	清水 啓右	弁護士	本池 俊夫
弁護士	村松 康之	弁護士	大崎 智也	弁護士	柴野淳一郎
弁護士	安川 尚美	弁護士	石田 裕夏	弁護士	石松 慶康
事務局長	石岡 啓治	行政書士	重永 康希		

夏をうるおす

北海道大雪山
ゆきのみず

夏をたのしむ

 Club Get's®
札幌通運株式会社

 LNJ ロジネットジャパングループ 札幌通運株式会社

本社 / 札幌市中央区大通西8丁目2番 LNJ札幌大通公園ビル

<http://www.sattsu.co.jp>

 70th anniversary
2020年

財界さっぽろ

情報を先取り、タブーに挑戦

年間購読のご案内

月刊誌 財界さっぽろ 年間定期購読料

9,000円

送料・消費税含む

謹啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。「財界さっぽろ」は昭和38年に創刊以来「情報を先取り、タブーに挑戦」をモットーに、北海道経済の最新情報を毎月発信してまいりました。以来長年にわたり、北海道の政治、経済、生活を理解する上で必読の書と評価下さり、ご愛読いただいております。さて、弊社ではお得な年間購読をお勧めしております。



年間購読のお申し込みは、本誌巻末に添付の郵便振込用紙、または財界さっぽろ公式ホームページにて受け付けております。

お問い合わせは 株式会社 財界さっぽろ 〒064-8550 札幌市中央区南9条西1丁目1番15号 ☎ 011(521)5151 FAX 011(521)5159
<http://www.zaikaisapporo.co.jp/>

北海道のお仕事さがしは、キャリアバンクにおまかせください

札幌市に本社を置くキャリアバンクは北海道の人材会社として30年以上、地域に根差した事業を展開しています。地元で培った信頼と、豊富な実績で、みなさまの就職・転職活動、スキルアップをサポート！派遣、正社員、メディカル、海外人材など、さまざまなジャンルでご相談に応じます。



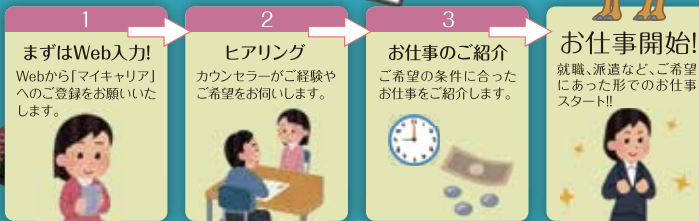
スタッフブログ

「C Blog」更新中!

今シーズンも
コンサを全力で
応援します!



お仕事紹介までの流れ



スマホで
カンタン登録!



お仕事開始!
就職、派遣など、ご希望にあった形でのお仕事スタート!!



スマホエントリーは
こちらから

私たちが
お仕事探しを
お手伝いします



CAREER BANK

札幌
本社

札幌市中央区北5条西5丁目7 sapporo55ビル5階
 (紀伊國屋書店が目印のビルです)

派遣事業部

0120-55-0342

コーポレート Oh! 採用に

社会・労働保険手続代行事務 日本で働く人をサポート

インターンの希望
も承ります!

新規事業の許認可取得サポート

労働法・会社法に関する専門職です。

- <募集職種> ①労務管理事務
 ②行政書士補佐 (外勤)

雇用形態: 正社員

月給 19万円~

インターンの希望も承ります★



レクもいっぱい!
私達と一緒に
働きませんか?

SATO社会保険労務士法人/SATO行政書士法人

〒065-0005 札幌市東区北5条東8丁目1番33号 問合せ・応募 /saiyou@sato-group.com



SATUDORA HOLDINGS

サツドラホールディングス株式会社

代表取締役会長 富山睦浩

〒002-8003 北海道札幌市北区太平3条1丁目2-18
TEL 011-788-5166 (代表) FAX 011-772-7574
<https://satudora-hd.co.jp/>



(一社) 北海道建築士事務所協会会員 株式会社 総合開発設計

代表取締役 川 幡 宏 一
一級建築士

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2番18号 I・Dビル
TEL (011) 709-8230 FAX (011) 709-8237
E-mail : idd-kawa@qit.ne.jp



建築設計・監理を専門として39年間の実績ができました。住宅から特殊建築物まで幅広く手掛けています。建築にかかわるコンサルタントも行っていますのでご相談下さい。

本会社有39年の実践成績、主要業務：建築設計・監理専門指導・住宅及其它特殊建築物、業務広范

 株式会社AG総合設計



もっと、まちになる。

JRタワーは、おかげさまで、この春、16周年を迎えます。ひとつのまちとして進化しつづけるアピア・エスタ・ハセオ・札幌ステラプレイスどうぞご期待ください。

APIA EITA paseo STELLAR PLACE E&A JRタワー・オフィスプラザさっぽろ

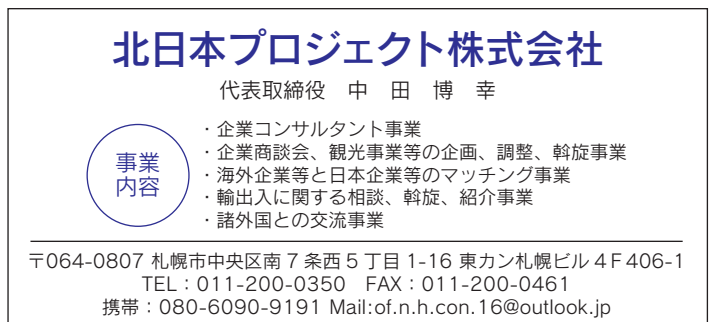
札幌駅総合開発株式会社
〒060-0005 札幌市中央区北5条西2丁目5番地 JRタワー・オフィスプラザさっぽろ9階
TEL.011-209-5050 FAX.011-209-5051 www.jr-tower.com



ありがとう! 20年
Since 1999

キレイな街へ
キレイな未来へ

City シティ環境株式会社
網走市字潮見177-32
☎0152-61-2663 FAX.61-2664



北日本プロジェクト株式会社
代表取締役 中 田 博 幸

事業内容

- ・企業コンサルタント事業
- ・企業商談会、観光事業等の企画、調整、斡旋事業
- ・海外企業等と日本企業等のマッチング事業
- ・輸出入に関する相談、斡旋、紹介事業
- ・諸外国との交流事業

〒064-0807 札幌市中央区南7条西5丁目1-16 東カン札幌ビル4F 406-1
TEL : 011-200-0350 FAX : 011-200-0461
携帯 : 080-6090-9191 Mail: of.n.h.con.16@outlook.jp



バスの運行情報を一目で確認!

- ☑ バスの現在地、遅れ状況をリアルタイムで確認
- ☑ 経路検索、乗継検索で最短経路を検索
- ☑ マイバス機能でもっと便利に!

QRコードまたは下記URLからアクセス!
<http://info.buskita.com>

※札幌市、旭川市、香川県丸亀市、静岡県富士市のエリアが対象となります。

こちらもぜひご活用ください!
「観る」「食べる」「遊ぶ」札幌の観光情報を凝縮したスマートフォンアプリ『さっぽろぐるメーカール』

MediaMagic 株式会社メディア・マジック <http://www.mediamagic.co.jp/>

代表
公認会計士・税理士
井上 理
Osamu Inoue



フロンティアパートナーグループ
帯広オフィス 〒080-0017 帯広市西7条南6丁目1番地4
tel 0155-24-3616 fax 0155-28-2313
札幌オフィス 〒060-0808 札幌市北区北8条西6丁目2番地20 新和ビル6F
tel 011-374-1752 fax 011-374-1762

プレミアホテル 中島公園 札幌
同窓会プラン
5,500円 (消費税・サービス料込)
20名様～
有効期間:2019年3月1日～2019年9月30日

和・洋・中・デザート6品 フリードリンク2時間 3つの特典付

同窓会プラン
3大特典

カラオケ・スクリーン
液晶プロジェクター
無料貸出
※数に限りがございます。
事前にお申し出ください。

会場内
紙看板作成
札幌○○同窓会

集合写真
プレゼント
※サイズは社版となります。
2L版の際は別途料金を
頂きます。

PREMIER HOTEL プレミアホテル 中島公園 札幌 〒064-8561 札幌市中央区南10条西6丁目21
TEL:(011)513-0615 (直通)

ベストプランとベストサポート
POWERLINK **パワーリンク**
やさしい保険相談室

札幌支社
支社長 **吉田 正博**
MDRT成績資格終身会員



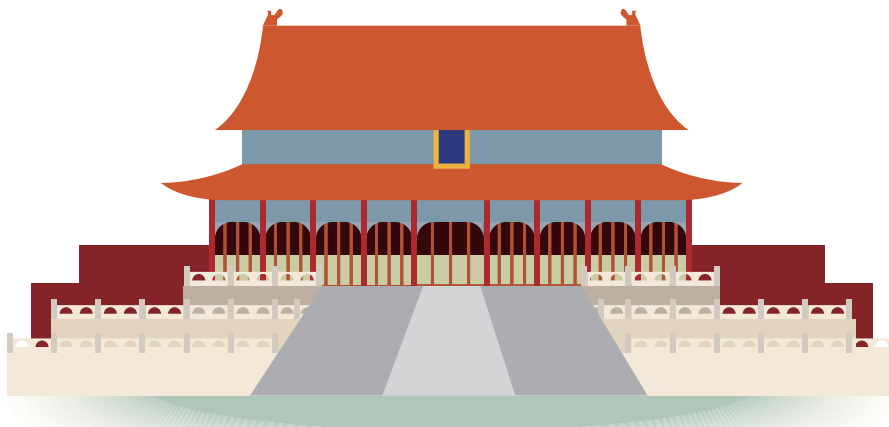
募集代理店 **パワーリンク株式会社**
〒060-0002 札幌市中央区北2条西9丁目4 インファスビル3F
TEL:011-272-7601 FAX:011-272-7602

MTJ 観光株式会社 代表取締役 **加藤 哲**
Tetsu Kato

株式会社 明哲貿易(MTトラベル)
訪日旅行者に対して手配業務全般 通訳及び国際観光業務
札幌市北区北32条西10丁目1-13-102号
Tel.011-788-8887 Fax.011-788-8889
<http://www.meitetsu-trd.com/>

事業内容

MTトラベル 北京支社
訪日旅行者に対して手配業務全般 通訳及び国際観光業務
北京支店:中国北京市朝陽区潘家園南里潘家園大廈三層0323室
Tel.+86-10-8779-2162



会 員 募 集

一般社団法人北海道日中経済友好協会では、
現在会員（法人・個人）を募集しています。
詳細は協会事務局までお問合せ下さい。

一般社団法人北海道日中経済友好協会
事務局 電話011-707-0030